


たけや

2009. 8. 24

夏休み特集1 自主学童保育ささのは777
No.22

毎日の生活

朝は8:30前から夕方7:00まで1日中過ごす長期休みは、子ども達の経験にとっても、の発見にとっても貴重な機会です。そこで気が付いたいくつかの話を伝えます。

<朝の始まり>

「おはよう、ねえ何かして遊ぼう、ねえつまらない、誰か来る? おはようの余韻もななく始まるのが子ども達の朝です。一人言有り、一人遊びの叫び声あり... 数人が集ると朝からこんなに盛り上がるの? という位、しよき、うい、トランプ、ブロー筆で盛り上がり、休み明けの人は休みの間にあたことをいはいしゃべります。「ねえ日本地図書いてみて、ホウ 北海道があって そこから オー、と書いて、オーと書いて行て、九州まで行たら、えうそこ、そこに行たの、昨日行た お祭の話たたり、夜見たテレビの話たたり、くつの中に逃げ込んだゴキブリの話たたり、聞いてる他の子達にもえの話が広がって、とても楽しい時間です。

<勉強時間>

ささのはの家、2Fと1Fに分かれて、7:15-7:45毎に勉強しています。以前に比べて学校の宿題が増えているのはビックリです。

* 他人のやっている勉強にお互いにとっても興味を持つように、「教えなさい」とか「人の見てないで自分の勉強しよう」と言いつつ、好奇心が強い、て良い事かもしれないが、学校でみんなが勉強する良さを現われなかもしれないとも思いました。

* 「漢字がわかんない」と言う出て来子のが 国語辞典・漢字辞典、知リたが、た字だけでなくて、まわりの字もゾーッと見てる人もいて、楽しんでるようでした。

* 集中力とは? 「ワカズエ」ちょっとアドバンスして、横で見ていると必死に集中してあはは、あははとつぶやき、あまりの気の散り様に、付き合いきれずに、「次に来るまでにここまではやてぬ」と言い置いて、戻てみると、ずーと進んでいたりすることもある。心、て難しいもの」です。

<あそび>

この夏流行たのが、コマ・バーゴマです。なぜかは? 最初は「ひも巻いて」と言っていた1年生達も、今では男回し女回し(右巻き・左巻き)どちらでもOKになる位でぶつけ合ったり、長回し競争をしたり、小さい枠の中に入れたり、缶乗せ(空缶の上に乗せ)をしたり、積木でコースを作て、えこをおぼせたり... きの内、バーゴマまでやるようになりまして。バーゴマのひもを巻くのはさらに難しい、でも何回も何回も挑戦して「見て見て回たヨ〜」の嬉しうな声か、いはい聞けました。5年のくんは、バーゴマ名人に見せてもらた「ヤマアラシ」という



バーゴマの床の上で外側に向けて、渦を巻くように回るバーゴマを作ったと、バーゴマをヤスリで色々な削りてみていました。試行錯誤の結果、本当に「ヤマアラシ」ができたんです。名人の様に他のバーゴマを外にはおぼせずには、まだ修行が必要のようでした。

* はやり始めた頃、家からバネじかけのバーゴマを持って来た子がいました。同じ床の上でバーゴマといっしょに回したりしていたけど、「技をみかいてできるバーゴマの面白さにはかなわないだろう」「競い合う気持ちにはならないだろう」という $\text{\textcircled{4}}$ の予想に反して、次の日、次の日と少しずつ持て来る子が増えた。そして、バーゴマを回せるようになった子も、かなり勢い良く回している子も、「これで競い合うのは変だ」と誰も文句も言わず、借りて使い出しました。 $\text{\textcircled{4}}$ として口出しをするのは迷たけれど、せ、かく努力して回せるようになり始めたバーゴマの面白さが、代無しに上れるから、持て来ないでほしいと話しました。半分はえんな物を作たおとなの責任だと思ひながら、子ども達に遊びの価値をもちわけてほしいと思ひ、本当は子どもの中からそんな意志表示が出てこないのはどうして? こんなに遊びに長けているささのはの子達なのになんて思っています。

* 雨が長くツルツルスベリ、暗れてもヤア蚊ブンブンで走、ていないおちこちがかわくなるし、少しプレイパークから遠いってある日、プレイパークに行て「ワー、ちい、ちいと見ない間にはこんなに草が生えちた!」、でもこの頃4:00頃の少し涼しい風が吹く頃になると外でドッジボールをしたり、ターザンロープに乗たり、セミとりをしたりするようになりましてヨ。

<昼寝時間>

1~3年までは1:30~3:00.横になて本を読んだり、寝たりの静かな時間を過ごすことにしています。4年以上は「好きにして良い。」ことにしています。

★ 4年以上の女の子達は、図書室で回り将棋をしたり、外で遊んだり、時にはおみごと、しよに寝転がって本を読んでいたりと、「自由を自由に使っているのですか」...なぜか男の子達は学年が寝ている場所から寝住れずに、しかもしゃべったり、遊んだりするので、「ねえ、だから好きなとこで好きな事をしていいけど、ここでしゃべったり遊んだりしないでくれる?」すると、その場で遊ぶのを止めて、横になたりして...でも、すぐにまたしゃべり始める。「わかんないかなあ、遊びたいなら、別な所に行こ!」「自由、とは難しいことなのでしょうか? そんなに強制はかりしたことはないのに!!」

★ 1~3年でも何度言っても、ぶざけたり、犬声でしゃべったりする人が居たので、最後の般一人用のゴサを出して「どうしてもさわぎたい人はこのゴサを使、トイレで寝てもらいます、遊びに来てくれた犬先輩のりえがお姉さん「ワァ! なっかしいこのゴサ、これで、本当に〇〇はトイレで寝たんだよね、私覚えてるよ、ねえ、さっさとこき、ってやると勝手に本当にやるから気を付けた方がイイよ!」この一言の効目はたいしたもの、シ〜〜ン、一気に現実味を帯びてみずさんに届いたようでした。

<夏休み製作>

今年も木工作か軍手人形作りをしています。それぞれの良いところは、できた作品で遊べるのと、2年になたら〜6年になたら、これが作れると期待や楽しみが持てるところです。できたパズルや迷路ホップスを交換して「難しいな」と言われた時の嬉しそうな顔。できた人形で丸2日間ずと人形遊びをしていた2日目の夕方、「ハサミ貸して、「何に使うの?」「ずと遊んでたらね、毛玉ができたわ!」確かにお腹にコロコロとたくさんの毛玉がついていました。この位使えば満足でしょうね。3年以上は好きな人形で服のデザインも自分で着てもらいます。服のデザインを搜して色々な本を読み「これ、こんなのが良い」となてから、その人形に合うように指としよに考えました。着せ替え式にしたという希望が出たので、「何と着せ替えるの?」「前に作、た人形とだよ」なるほどね、楽しみ方を色々考えているようです。記念写真を撮るのでぜひ見てください。

外出の時に 今年も水遊びを中心とした外出を色々しています。

<自然との出会い>

◎ 大量発生(?)のゴシムシ



横浜国際プールへの往復「南野川ふれあいの森」を通りました。7月末は雨続きでジメジメした森の通り道にはあちこちにたくさんの黒い「ゴシムシ」が「ア、ア、ア、ア」これはは、森の掃除屋さんだからね、虫の死骸を食べてるんだから「ウ、ウ、ウ、ウ」

◎ 木を叩くとはしたら落ちて来た。






1帰り道、手にクワガタを持っているので、「どこに居たの?」「たね何となく木を叩いたら、ポタッと落ちて来た、本人もビックリの顔。「いいところなんだね(ふれあいの森で野川の子も達にもんな経験をさせたくて、地元産のクワガタやカブトムシを育てている人がいると思うよ)」

◎ アイツ、スゲエ!




国際プール横の公園で「お弁当を食べていたら、どこからか114が青虫をつかまえて飛んで来て、地面に開けた穴にそれを運び入れ、しばらくしたら出て来て、穴の入口をまわりの土でかくして、またどこかに飛んで行きました。①もちよと離れたところから見ていたけど、すぐ目の前で見ていた子達は、ジーンと見ていて「アイツ、スゲエ! あの虫、後で食べる気かな」「あれはね、食べるといもなくて、あの青虫に卵を産みつけたんだよ」「ハー、幼虫のイサなんだ、えれでかくしたんだ!」なかなか見られなかりバチのお仕事をじっくりと見せてもらったようです。

◎ 林試の森公園

お目当ては、アスレチックとジャングル池です。でもさすが林業試験場後地だけあって巨大な木がいっぱい、下には色々な木の葉も落ちていたり、草地もあってセミもいっぱいでした。そこで見つけた「セマボウシの実」「これ、甘いんだよネ」「エ?」表情は色々、他にもふしぎな球形の実を拾った人もいて、木で面白いねと思いました。(後で調べたら「ぶう」という木の葉のようでした)

◎ つけづめはコガネムシの羽

等々力プールの昼食後見て、と金属光沢に緑色に光るつけづめをつけて見せてくれた女の子。指にびたり、自然でなければ出せない色、そういえば、昔の仏具に玉虫の羽を使った物があったね、考えることは同じなんですね。